

さまざまな学びを与えてくれたサービスラーニング

活動先：NPO 法人 学童保育ざりがにクラブ

クラス：原田 正樹 先生

1. 自分の成長と気づき

私は、南加木屋にあるざりがにクラブと言う学童保育で活動をさせていただいた。

活動前半の頃は子どもたちに振り回されたり、数人の子どもたちから一度に話されたり遊ぼうと言われてたりしてどのように対応したらいいのかがわからなかった。そのため一人ずつしっかりと話を聞くことができなかつたり、遊んだものを片付けなかつたり室内で走り回ったりする子どもに適切な注意ができず指導員さんに助けってもらったりしたことがあった。他にもプールや海水浴に行ったとき自分と一緒に遊んでいる子どもたちのことしか注意して見ておらず近くで遊んでいた子どもの怪我にすぐに気づくことができなかつた。この反省を基に次回からはそれらに気をつけて活動を行おうと思った。活動最後のほうでは、子どもたちから一度に言われても一人ずつ聴くことができ、遊ぶときも順番にできた。室外や室内で遊ぶときも自分と遊んでいる子どもだけでなく全体を注意深く見ながら行動できるようになりいろんな対応もできるようになった。

私たちは、夏休みなので学童保育では普段行えないような流しそうめんとうどんづくりを企画した。うどんづくりでは、子どもたちに一緒にしようと誘っても女の子数人しか手伝ってくれなかつた。しかし、やっているうちに他の子どもたちも興味をもって来て手伝ってくれた。子どもたちに無理やりこれをやると言うより子どもたちの興味が出てくるまで待つ必要があると学んだ。流しそうめんでは子どもたちが平等に食べられるように時間制限や立ち位置の交換などを行う必要があると学んだ。前のほうの子どもたちが後ろのほうの子どもたちにちゃんとそうめんが取れるように譲っている姿が見られることもあった。

6 日間の活動を通して一番は子どもたちに対しての接し方が上手くなったと思う。一人ひとりの性格やこの子にはこういう風に接したらいいかがわかってきた。ただ、子どもたちがけんかしたときなどの仲裁の仕方などがまだ上手くいっていないのでどうしたらできるのか考えていきたい。また、ざりがにクラブという NPO がどのような活動をしてどのように誕生したかがわかった。あつという間の 6 日間だったが良い思い出となりたくさんの経験をさせてもらった。ここで学んだことを特にサークルでの子どもたちとの関わりやこれからの生活に活かしていきたい。

6 日間の活動以外では、特に自分で考える力を身につけたり MPO について様々なことを知った。今までかグループ内で話し合うときいつも人任せにしていたところがあったが活動先のグループや研究テーマのグループなどで話し合ったときどうしたら子どもたちに喜んでもらえるか、NPO と NPO のつながりはどのようになっているのか考えて積極的

に発言できた。NPO に対しては春のバスツアーで行ったエンド・ゴールを見て今まで見た NPO とは雰囲気などが違っていたので意外性を感じた。また、NPO がどのような課題を持っているのかわかりよくしていくためには何ができるのか考えた。

2. この活動を通して見えてきた地域活動や社会課題

ざりがにクラブは地域の人たちにざりがにクラブのことを知ってもらうために 30 周年の記念行事でも行った人形劇をまた行い、一般の人も招いて一緒に人形劇を見るという活動を行うことサイクリング、工作、東海市立市民活動センターに登録してある NPO と連携していることがわかった。

ざりがにクラブには数人の障害児がいる。子どもたちも好き嫌いがあるので一概に決め付けられないが障害児と健常児との関わり方を見てあまり関係がいいとは思わなかった。これは健常児が障害とはどのようなものなのだとあまり理解していなく偏見を持っているからだと思った。それをなくすためには簡単な障害についての学習を行うといいと思う。地域の障害者を招いて話をしてもらったり、車椅子体験といった障害者体験を行えば健常児による障害児の意識も変わると思うし子どもたちと地域の人との関わりも少なからず生まれると思う。

今共働きの親たちが増えていっている中で子どもを学童保育に預けて安心して仕事に集中したいと思っている親たちが増えていっていると思う。そのためにもざりがにクラブのことをもっと地域の人たちに知ってもらう活動を行い学童保育にくる子どもたちを増やしていく必要があると思う。そういったことがざりがにクラブの持つ社会課題なのではないかと考える。

3. 終わりに

6 日間活動させていただいたざりがにクラブの理事長さん、指導員さんのみなさん本当にありがとうございました。いろいろご迷惑をおかけしたりしましたがたくさん貴重な体験をすることができました。私は、将来児童福祉分野の仕事に就きたいと考えているのでこの活動の子どもたちとの関わりの中かで学んだこと、感じたことを活かして役立たせて行きたいと思います。また、児童のことしか知らないということにならないよう高齢者、障害者など他の分野にも実習やボランティアなどで行き視野を広げていきたいと考えています。